

# SA 吹田通信 第 66 号

発行 SA 吹田事務局 〒564-0004 吹田市原町 3 丁目 7 番 2 号 TEL/FAX06-6388-3380  
ホームページ <http://outdoor.geocities.jp/suitabear/sasuita.htm>

## 吹田市と SA 吹田の意見交換会

会長 小川忠夫（18 期）

8 月に開催された「お迎え市長室」で阪口市長への SA 吹田の活動状況の報告と意見表明をしましたが、その後のフォローを含めて吹田市の関係部署との意見交換会を開催しました。11 月 4 日、吹田市役所において地域教育部、市民文化部、高齢生きがい課、市長室のそれぞれの責任者 7 名に出席いただき、SA 吹田は三役が中心となり意見交換をしました。

SA 吹田としては、来春開講される「生涯学習吹田市民大学について」、生涯学習だけではなく、社会貢献のためのボランティア養成講座を設け、ボランティア活動をリー

ドできる専門的な人材を育成すべきではないかと強く主張しました。

これに対して、吹田市の方からは明確な意見表明はありませんでしたが、生涯学習市民大学のカリキュラムの中で、我々の意見が反映される可能性も示唆されました。その後の情報収集の中でそれが形になってくる方向であることを確信しています。新年早々にはもう少し市民大学の骨格が見えてくると思います。今後の我々の後継者育成の観点からあらゆる供給源の充実を図る必要性を強く感じています。

## 「車椅子」「アイマスク」体験授業応援 ～ 青山台中・南山田小～

11 月 13～19 日にかけての 5 日間 5 クラスは青山台中学校で車椅子、20 日は南山田小学校でアイマスクの体験授業のお手伝いをしました。いずれも吹田市社会福祉協議会が



広報部

主催、今年度から社協が大変力をいれている活動で、それにともなって SA 吹田もフル回転です。SA を軸に青山台中は延べ 45 名、南山田小は 12 名と、大変多くの皆さんの応援を得ることができました。お疲れさんでした。

中学校での授業は初めてでしたが、半数近い生徒は何らかの関係で車椅子の体験しており、福祉関連の授業も広まっているようでうれしいことです。

## 「外国人と小学生の交流」支援 - 佐竹台小学校

国際交流部会

11 月 18 日の「外国人と小学生の交流」支援プログラムは佐竹台小学校でした。5 年生二組 70 人に校長先生、教頭先生、担任の先生 2 名、外国人 6 名（ブラジル、ドミニカ、タイ、韓国）、SA 7 名が参加しての国際交流です。

みんなで給食を一緒に食べ、すぐに子ども達と友達になりました。

午後からお国の文化（言葉、風景、食べ

物、遊び、音楽、踊り etc.）を紹介して貰いましたが、5 年生にもなると理解が早いんですね。最後に児童からお礼がありました。リコーダーの合奏「威風堂々」に留学生たちは大変喜んでおりました。

3 月末までにあと 9 校ほど訪問予定があります。

留学生の授業日を聞きだし集りやすい日を学校と調整する必要が出てきました。



## 来春

### 大阪府高齢者大学校と生涯学習吹田市民大学 相次いで開講

会長 小川忠夫（18 期）

20 年以上の歴史を誇る大阪府シルバーアドバイザー養成講座が廃止され、その事業を引き継ぐ形で、この 4 月に大阪高齢者大学校として開講が予定されています。その為に結成された関連団体からなる NPO が運営を担います。大阪府の強い支援があるものの、運営経費はすべて、NPO の負担で事業が行なわれるという、全国的にも珍しく新しい試みが行なわれます。先駆的で

はあるが、厳しい運営が予想される門出となります。

シルバーアドバイザー養成講座 2 講座については、SA 連協が中心になり各地域 SA が一体となり準備作業に全力を傾注しています。2 月から受講者募集が始まります。SA 吹田としても一人でも多くの方が応募され、我々の仲間が増えることを期待し、募集作業に取り組みます。

一方、吹田市の「生涯学習 吹田市民大学」は 10 月からスタートしていますが来年度から新しい講座が始まります。まだ詳細な計画は明らかにされていませんが、旧老大のいいところを更に発展させる形での内容も在るやに聞いています。我々 SA 吹田としては、この市民大学の講座の中に「ボランティア養成」的な講座を組み込んで欲しいと、吹田市に要望しています。そのよう

な形になれば、SA 吹田としてその運営についても全面的に協力していく考えています。

大阪府の「高齢者大学校」吹田市の「市民大学」時期を同じくして立ち上がりますが、それぞれに大変いい講座や講師が準備されているようです。奮ってご応募いただきますようお願いいたします。

## 生涯学習吹田市民大学 について

広報部

みんなで支えるまちづくりにつながる「学びの場」として、「生涯学習吹田市民大学」が開設されました。市民協働により、生涯学習の講座を幅広い分野にわたって体系的に提供する学びの場として創設されたもので、すでに開設されている「まちづくり吹田学塾」や「まちづくり創造政策研究所」と連携し、市民が自己実現と生涯を通じた発達のために、「いつでも」「どこでも」

「だれでも」生涯学習活動に取り組めるよう支援すると謳われています。

阪大・関大・大阪学院大・千里金蘭大・国立民族学博物館の 5 教育機関との連携体制も組まれることになっています。

来年 6 月開講ですが、すでに 10 月より開講されているコースもあります。

費用は無料（教材別）です。

## NPO 法人 大阪府高齢者大学校について

広報部

大阪高齢者大学は、前身である大阪府老人大学講座およびシルバーアドバイザー養成講座開設以来 30 余年の歴史をもち、3 万余名の修了者を輩出してきました。しかし、財政大改革のため本年度（平成 21 年 3 月）

をもって廃止することを府議会で決定しました。これを受けて同窓会など関係する市民団体が中心になり、NPO 法人を設立して、引き続き継続開講することになりました。

### 概要(予定)

開講 = 平成 21 年 4 月（募集開始 1 月下旬）

講座 = 12

（内シルバーアドバイザー養成は地域交流コーディネーター科・多世代交流科の 2 講座）

定員 = 12 クラス 550 名、

受講料 = 年 4 万 7 千円、


教室 = 港区、ピア NPO 会議室他、事務局 = ピア NPO。

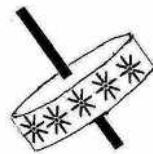
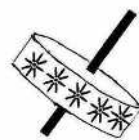
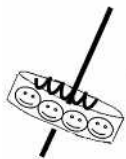
構成団体：NPO 法人シニア自然大学・NPO 法人ふれあいサポート・NPO 法人シルバーアドバイザーネット大阪・府 SA 連協・府高齢者大学同窓会・府老人大学南部講座同窓会・（財）府地域福祉推進財団。

法人認証予定は平成 21 年 1 月下旬。

**投稿****かっぱゴマで子供達を楽しませています。**

私は、平凡な主婦業を長年やってきました。60 歳半ばで老犬と、SA にお世話になり皆さんの仲間に入れていただいたわけです。そんなことで何のお話もないのですが、或る時、かっぱゴマというものに出会いました。その日から私の生活が少しずつ変わっていきました。まず土台になるかっぱ集めです。集めたかっぱを家で綺麗に洗ってや

16 期 せの あや(瀬野 文)り、そして、二つ仲よくくっつけてやり、可愛いテープを巻いて出来上がりです。イベント会場に行き、子供たちが、コマの上の丸い用紙に思い思いの“絵”を書き串を刺し出来上がった  がまわった時に喜んでくれる顔を見るととても素敵なので、楽しい? 毎日を過ごしています。おしまいです。

**私のボランティア!!**

定年後は、目立たずでもよいから社会に貢献することを望んでおりました。幸い SA 講座「福祉」での勉強をすることが出来ました。平成 7 年 1 月に修了を前に、7 期生有志が発起人となり、先輩の桑原(故人)さんを代表にお迎えして、塚田先輩のご支援のもと「イン・吹田いきいき歌体換グループ」を創設しました。私は当時も覚えるのが苦手で「老人センター」の桑原先輩の歌体換教室に通いながら、会員の末席において頂きました。スタッフとしての活動に至るまでの間、皆様方には大変お世話になり、深く感謝いたしております。その後、はからずも大阪市シルバーボランティアセンターでの寺島先生の「歌体換リーダー講

7 期 岡田隆習会」5 期生の指導助手として、「教えることは、学ぶこと」の実体験をもさせて頂きました。この頃より、「歌体換」だけのボランティア活動に”何かもの足りなさ”を感じるようになりまして、結果「高齢者サービスボランティア」として再出発します。内容は、老々介護・シングル介護の対応をも含め高齢者への声かけ、介護予防になる「ケア歌体換」の普及に、「ちょこらボランティア(お使い・庭掃除・電球の取り替え・代書等)」、地域福祉の広報誌編集発行です。心はボランティアとしてではなく、お互い支え合って生き方の質の向上に歩みたいと願って居ります。



## 新しく「私の趣味」欄を設けます。ご投稿を！

(広報部)

会員の皆さんに、少しでも「SA吹田通信」が身近に感じていただけるよう、「私のボランティア」欄に続いて、新たに「私の趣味」欄を設けることになりました。日頃の趣味や活動の投稿をお待ちしています。

300 字以内(写真込)で簡単な記事を歓迎します。

同好の仲間づくりに役立つかもしれません。

ご投稿ご希望の方は広報部担当まで。

担当：新崎 <sup>フジツキ</sup> tel; 06-6832-6915 松川 tel; 06-6876-2089

### SA 吹田 2008 年 11 月度役員会議事録抜粋

1. 小川会長報告：これからの SA 吹田の維持について、老廃、SA の廃止もあり、会則等組織の变革が検討課題。2. 福祉教育支援関係(アイマスク・車椅子)報告：11 月の青山台中、南山田小への人員派遣で一部問題があった。今後、SA 吹田としては、社協からの依頼校に対してのみ実施。3. 各部会報告。1) 歌体操部会：来年 3 月 8 日実施の歌体操交流会の実行委員会を立ち上げた。2) おもちゃ部会：来年の主なイベント 昔あそび/北山田小で 1/15 日 2 月下旬に博物館昔のおもちゃ作り。3) 国際交流部会 3 月までの対象校 11 校(実施済み、1 校。実施決定校は 7 校)。4) プロ

ック部会：これまでに全ブロックで集会開催済み。今後も継続したい。5) 広報部会：広報誌に、私の趣味欄を設けて、投稿を促す。HP にカレンダー方式を入れ、行事内容等インプット。連協と吹田の HP を一本化。リーフレットを利用し対外宣伝展開。4. その他：1) SA21 期生との懇談会：12 月 8 日(月)、11 日(木)。2) 次期役員改選日程：本年 12 月/役員退任、留任個別意見確認。来年 1 月/会長・三役候補決定。来年 2 月/執行部候補決定。来年 4 月/役員会案決定。来年 4 月 24 日(予定)総会承認。

### 11 月度 SA 連協理事会抜粋

1. 大阪府高齢者大学の HP が 11 月 6 日に立ち上げ。2. NPO 法人「大阪府高齢者大学校」の事務所を 11 月 10 日(月)から

開設。教室は 2 箇所。SA 養成講座は piaNPO で、一般教養講座(共通講座)は社会福祉会館で。

### SA 歌体操教室を開催します / SA 歌体操部会よりお知らせ

SA 歌体操講座改め歌体操教室として次の通り開催します。

ご都合のつく方ご参加ください。

日時：1 月 27 日(火) 13:30~15:30、 場所：メイシアター第 2 練習室

日時：2 月 17 日(火) 13:30~15:30、 場所：メイシアター/リハーサル室

## 活動予定

SA 吹田活動予定 (12 月) (参加希望者は担当者へ連絡を)					
12 月	曜	行 事	時 間	場 所	担当者
2 日	火	歌体操講座	13:30 ~ 15:30	メイシアター	藤川安高
11 日	木	国際文化交流 (お米の文化について)	10:45 ~ 13:00 給食を缺む	千里第二小学 校	田原美佐穂
13 日	土	おもちゃづくり市 民塾(大池サタデー クール)	9:30 ~ 11:00	江坂大池小学 校	小北月子
15 日 (注*)	月	外国人(留学生)と 小学生の交流 注:前号予告の3日を変更	11:00 ~ 13:30	岸辺第二小学 校	佐藤宏一
役員会・部会					
12 日	金	役員会	10:00 ~ 12:00	総合福祉会館	
15 日	月	歌体操部会	10:00 ~ 12:00	メイシアター	
17 日	水	おもちゃ部会	17:00 ~	瑚 中	
26 日	金	ブロック長部会	10:00 ~ 12:00	総合福祉会館	
高齢者ケア関係					
19 日	金	弘済院歌体操		14:00 ~ 15:00	

「編集後記」師走を迎え、皆様何かとお忙しいことと思います。

皆様のご協力・ご支援のお陰で本年最後の SA 吹田通信をお届けすることができました。ありがとうございました。

(広報:新崎)

